

枚方市長 伏見 隆 様
枚方市教育長 谷元 紀之 様

枚方教職員組合
執行委員長 有馬 昌代

「ダブルカウント」・教員不足問題についての申し入れ

2023年 8 月に枚方市教委は「教員不足への対応について」を示し、市議会、教育委員への説明と事態への理解を求め、市教委としての対応を示しました。

しかし、市費任期付き講師が2024年4月には－9人でダブルカウントが実施できない小学校が出てきました。

さらに、府費職員の教員不足、欠員状況もさらに広がりを見せ、中学校では維持期4名欠員で、学校で授業や学級指導をやりくりせざるを得ない状況が出てきたり、常勤職員の代替を非常勤配置しかできずに、不足する業務対応を残った職員でになわざるを得ない、中学校で教科の免許外の授業を臨時免許で対応せざるを得ないなどの事態が出てきています。

また、新年度のスタートを控え、小学校の市費任期付講師の3次募集の選考結果では、3月2日時点で－16人となっており、昨年よりさらにダブルカウントの実施が厳しい状況になっています。

とりわけ、支援学級在籍生徒にかかわる「ダブルカウント」による小学校 40 人以下、35 人以下学級編成はますます重要になっています。

枚方の学校現場は、ただでさえ不登校児童生徒の急増で対応に追われ、配慮や支援を必要とする児童生徒も急増する中で、年々難しい対応が必要とされ、現場の負担や困難が広がっています。

ダブルカウントが実施できないことなど教育条件の悪化の中で新学期がスタートを強いられることになり、学校現場にとっても、子どもや保護者にとっても大きな困難と混乱が起きることは明らかです。

教員の確保は教育行政の責任であることから、以下の点について緊急に申し入れるとともに、速やかな対応をとることを求めます。

記

1. 枚方市独自の「ダブルカウント」をはじめとした市費講師の確保状況、事業が実施できなくなる学校・学級数の見通しを、具体的に明らかにすること。
2. 4 月当初に「ダブルカウント」が実施できない学校、また今後講師配置ができず欠員で対応せざるを得なくなる学校には、当該学校への具体的で集中的な支援策、負担緩和策を具体的に示すこと。
3. 「ダブルカウント」が実施できないため教育条件が厳しくなる点について、責任を負う市教委として、当該の学校保護者、市民向けに直接説明を行い、疑問や意見を受け止めるよう対応すること。
4. 現在市費講師が確保できていない中でも、今後も市費講師の確保に責任をもって取り組むとともに、新学期開始後でも市費講師を学校に配置できるよう取り組むこと。
5. 市教委が各学校に求める課題、イベント事業、研究指定や研究発表、公開授業や学校への指示、拘束内容を抜本的に見直し、学校:教員の裁量権を拡大、尊重した働き方改革、業務の見直しを具体化すること。
6. 安定的で見通しをもって校内人事、学校運営ができるように、市内人事異動の年限の変更を中止すること。
7. 中学校の部活動地域移行にかかわって、部活動指導員の拡大配置、中体連の公式試合以外の試合、教科練習、合同練習などについて、教員の引率や審判、試合運営について、負担軽減のための抜本的見直しを市

教委の責任で行うこと。

8. 教員不足の実態、働き方改革の実態を明らかにするためにも、1か月以上の欠員状況、育産休者数、1か月以上の病休者数、年度途中や年度末の定年前の退職者数などを公表すること。
9. 「全庁一丸となって」対応するとしている点からも、深刻になっている教員不足、市費講師確保問題について、欠員の学校への支援策、負担軽減策とともに、実効あるぐらい策を検討、公表すること。

以上